



2月に移転した入交トラストエネルギー新社屋外観

入交トラストエネルギー株式会社(代表取締役社長:成岡 祐輔氏)は、高知市を中心に四万十町や室戸市まで広域にLPガスを供給している。事業内容は、LPガス、ガス機器販売のほか、高知空港での航空機給油、ガソリンスタンドやレンタカーの運営など多岐に渡る。2026年2月に本社を移転。旧本社より約8 km北側に位置し、大型ボンベ庫の併設、南海トラフ地震へのBCP対策を強化し、より安心・安全な供給体制を目指している。

LPWA導入による業務効率化の取り組み

ガス事業部には9名が所属し、うち4名がLPWA機器の取付業務を担当した。LPWAの導入は約4年前から始まり、今回は2回目の補助金事業での設置となった。導入目的についてガス事業部・本山 慎也氏(部長)は「検針の効率化と人手不足へのDX化(デジタル技術の活用)が狙いである。土地柄、家同士が離れていて検針効率が悪い。若い人材の流出も予想されるため、DXでできることは積極的に進めている」と話す。現在は配送管理や残量管理もDXで運用。2025年4月からWeb請求の準備を進め、7、8月に全顧客へ案内を送付し、9月から開始した。ただし紙ベースを希望する顧客には有償で対応している。



左から、担当のガス事業部・本山氏(部長)、酒井氏(係長)

イレギュラーな申請対応、取り付けはガス事業部全員で

補助金の申請については、会社合併に伴いイレギュラーな対応となり労力を要した。納税証明書や課税証明書の提出、連結決算への変更、税務署とのやり取りなどが発生した。

一方、メーカー選択や機器設置はスムーズに。ガスメーターと同じ東洋計器を採用。同社の営業担当からの助言や協力も手厚く、自社で全て取付を実施できた。社内では通信線を事前に切断し束ね、現場では線をつなぐだけで済むよう工夫したとのこと。部内全員で連携した作業により、夏に開始し寒くなる繁忙期の前には完了した。特に苦勞した点はなかったが、山間部での電波状況が悪く、届く場所を探す必要があったとのこと。

顧客や社内での監視機能による安心感

設置後は監視機能により毎日データ取得が可能となったことで、配送やガス切れの心配も減り「安心して仕事に取り組める」状況になった。夜間当番ではスマートホンでリアルタイムに顧客の使用状況を確認できる点も好評だ。ガスを止めてはならない顧客や予告が必要な継続使用遮断がある場合も、安心・安全にサービスを提供できている。

顧客への営業活動も増加している。従来の検針ではお客さまと話せる時間が少なかったが現在は、保安を兼ねてガス機器の経年劣化による交換提案など、接点機会を創出できている。



集中監視システムを操作

設置率100%でDX化！ 導入予定者へのアドバイスも

今後は設置率100%を目指す。既にシルバー認定を取得済みであるが、ゴールド認定申請を直近で予定。LPWAによるDX化で社員の年間休日を増やすことも、100%設置目的のひとつという。

業務担当の酒井 沙耶佳氏(係長)からは「LPWA導入に当たっては、業務の優先順位を明確にすることと、社内申請でも費用対効果の説明が不可欠となるので、どのような効果が得られるかを社内で説明できるようにすることが重要である」とアドバイスをいただいた。

LPWA通信システムの実態調査票（事前調査）

フリガナ 会社名	イリマジリトラストエナジーカブシキカイシャ		会社所在地	高知県高知市布師田金山3936-73		
連絡先	部署名	ガス事業部	事業責任者名	本山 慎也	役職名	部長
	担当者名	酒井 沙耶佳	電話番号	088 - 802 - 7480	従業員数	91 名
会社設立	西暦	1960 年 12 月 23 日	ホームページ	https://www.irimajiri-t-e.co.jp/		
顧客件数	2,274 件 内家庭用		1,918 件 業務用		356 件	
事業内容	1. 石油類及び各種石油製品の販売 2. LPガスの製造及び販売 3. LPガスに関連する器具及び物資の販売 4.					
会社の強み	1. 風通しの良い社風 2. 3. 4.					

LPWA通信 システムの 活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input checked="" type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安 (該当項目☑をクリック)						
	<具体的活用方法> 検針時間の短縮 誤検針の防止 LPWA設置先には、逐次WEB請求の推進中・不定期配送先の事前配送予測管理、バルク設置先への月末在庫確認の為のガス残量の取得						
LPWA通信 システムの 導入目的	<申請前における業務上の問題点> 自動検針により検針時間を短縮する。リアルタイムでの客先保安情報管理の把握と迅速対応の為。働き方改革を進めるうえで、将来の労働人材不足に備える為、社内業務効率化が必要だった為。業務のDX化の一環として省力化推進の為。						
	<導入によって期待する効果> 特定の地区を集中的に検針作業を行うことにより、人件費・燃料費の削減が見込まれる。 遠隔地・業務用顧客への配送指示の最適化と残ガス率の削減を行い、配送の合理化・効率化と検針業務を省力化する事により、事業運営に伴う全体経費の削減。						
設置状況	今回設置件数	150 件	累計設置件数	1,065 件	全顧客に占める設置率	62.8 %	
導入費用	総金額	1,275,000 円		内補助金対象金額	637,500 円	補助金額	637,500 円
導入期間 (今回分)	補助金申請日	西暦	2024 年 6 月 25 日	所要期間	実行体制		
	機器設置完了日	西暦	2025 年 1 月 17 日	7 ヶ月	合計	4 名 内社内	4 名 内社外

LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討													
	●機器メーカー選定													
	●設置先の選定													
	●補助金申請書作成													
	●事前調査													
	●事前周知													
	●設置工事													
	●試験運用													
	●本格運用													
	●メーカー講習会													
●その他 ()														

通信機器メーカー選定理由	ガスメーターメーカーと同じであり、申請時の協力、助言をえられるから
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<発生した問題点> 電波受信状況により通信不可の場所があった
	<上記問題点を改善した方法> 通信可能な場所まで機器本体を移動させて設置した
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	遠隔開閉栓が可能となり、現地へ行かなくても対応できるようになった。 遮断等の対応がスムーズに出来るようになった。
導入によって削減できた費用	検針による人件費、移動等による燃料費などその他の作業に充てることが出来る時間的余裕が生まれた。
反省点	設置エリア・件数等をスケジュールに合わせて選定したが、今後のことも考えて設置エリア等を絞ればさらに効率良く作業ができたと思う。

他用途への拡充意向	<input checked="" type="checkbox"/> Web請求 <input type="checkbox"/> SNS運用 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔地開閉栓 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急時対応 <input type="checkbox"/> 最適な料金提案 (該当項目☑をクリック) <input type="checkbox"/> 機器拡販 <input type="checkbox"/> 省エネ提案 <input type="checkbox"/> 電気等セット販売 <input type="checkbox"/> イベントへの集客 <input type="checkbox"/> その他 ()
-----------	--

自己評価	作業項目	評価 (数字を入力)		評価5または4の具体的な理由
		評価	理由	
5 大変だった	●申請作業	4	やや大変だった	合併したこともあり、納税証明書の取得に手間取った
4 やや大変だった	●仕様確定	2	あまり大変ではなかった	過去導入済みの機器なので選定はスムーズだった
3 普通	●メーカー選定	2	あまり大変ではなかった	過去導入済みの機器なので選定はスムーズだった
2 あまり大変ではなかった	●事前周知	2	あまり大変ではなかった	手紙を現場担当が周知した
1 大変ではなかった	●設置工事	1	大変ではなかった	通信線を作るなど全員で取り組み効率的に
	●試運転	1	大変ではなかった	
申請から導入後 (現在) までにあった、反響・意見・要望等	社内から	検針や開閉栓が楽になった。		
	業界・取引先などの社外から			
	お客さまから	保安の向上。事前予告もしたことで、安心して使っていただいている。		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)	自社の業務に沿った、合理化、省力化を進めるうえで設置先の優先順位を明確化し、検針業務の合理化の優先順位、配送業務の優先順位、保安業務の優先順位等業務全般に係る内容を精査し可能ならば事前に費用対効果を明確化させて導入する。			